| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 220003 | XYY3220003 | 2 | 前期 | 国際学部国際文化学科 | × | × | × |
| | | | | 国際学部国際文化学科英語集中コース | × | × | × |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 情報文化学部情報文化学科 | 共通 | 選択 | ２年 |
| 企業と経済 | 内田　亨 | | | 情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降) | 専門 | 選択 | ３年 |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降) | 専門 | 選択 | ３年 |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度) | 共通 | 選択 | ２年 |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度) | 共通 | 選択 | ２年 |
| | | | | 情報文化学部情報システム学科(24 年度以前) | 共通 | 選択 | ２年 |

## 授業目的

本講義では、日本・世界経済、市場、環境問題等、経済状況や今日的問題と企業の関係性を習得する。
また、資本主義経済社会において企業はどのような活動をしているか、基本的なことを理解する。
さらに、現代企業の今日的な課題でもあるコーポレート・ガバナンス・CSR や環境問題対策についても触れる。

## 各回毎の授業内容

第１回
【授】イントロダクション（ガイダンス、企業とは、企業経営のしくみ）
【前・後】企業経営の仕組みはとくに重要なので復習しておいてください。

第２回
【授】戦後の日本経済のあゆみと日本企業（１）
【前・後】戦後直後のことがわからないとそのあとの文脈が理解しにくいと思うので、本講義の復習は必ずしておいてください。

第３回
【授】戦後の日本経済のあゆみと日本企業（２）
【前・後】事前にアップロードする資料を見ておいてください。

第４回
【授】戦後の日本経済のあゆみと日本企業（３）
【前・後】事前にアップロードする資料を見ておいてください。

第５回
【授】世界経済と日本企業（１）
【前・後】キーワードを 20 ほどリストアップしておくので理解しておいてください。

第６回
【授】世界経済と日本企業（２）
【前・後】キーワードを 20 ほどリストアップしておくので理解しておいてください。

第７回
【授】環境問題と日本企業（１）
【前・後】四大公害および地球環境問題の成り立ちを理解しておいてください。

第８回
【授】環境問題と日本企業（２）
【前・後】温室効果ガスおよび京都議定書について理解しておいてください。

第９回
【授】グループワーク（１）
【前・後】グループメンバでテーマを選び、情報収集をしてください。

第１０回
【授】グループワーク（２）
【前・後】グループメンバでディスカッションしたことをまとめておいてください。

第１１回
【授】グループワーク（３）
【前・後】グループ発表の準備をしておいてください。

第１２回
【授】資本市場とコーポレートガバナンス・CSR（企業の社会的責任）
【前・後】コーポレートガバナンスおよび CSR の課題を理解しておいてください。

第１３回
【授】インフォメーション・エコノミーからナレッジ・エコノミー
【前・後】IT からナレッジ、その先にあるものを自分で考えてみてください。

第１４回
【授】市場と日本企業・外国企業
【前・後】外資系企業について理解しておいてください。

第１５回
【授】まとめ
【前・後】今までの習ったことをレビューしてください。また、定期試験問題の答案作成について準備してください。

第１６回

## 成績評価方法

| | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 強調・指導力 | 発表・表現 | その他 | 評価割合(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定期試験 | | | | | | | |
| 小テスト・授業内レポート | | | | | | | 30 |
| 宿題・授業外レポート | | | | | | | |
| 授業態度・授業への参加 | | | | | | | 30 |
| 成果発表（口頭・実技） | | | | | | | 40 |
| 演習 | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | |

授業態度・授業への参加：30%、グループワークによる成果発表：40%、グループワークによる授業内レポート：30%、で評価する。

## 教科書参考書

なし

## 受講に当たっての留意事項

・ グループワークは授業時間外にも自主的に情報収集・議論・まとめ・PPT 作成することが望ましい。
・授業への参加を評価するので指名する。指名されてこたえられない人は点数を付与されない。

## 学習到達目標

・ 企業と日本・世界経済、市場、環境問題等の関係性を理解し、基本的な知識を理解する（授業参加 30%）。
・ 基本的知識習得を前提にして、グループディスカッションによって、企業が直面する課題を発見し、解決策を考案できるようになる（グループワーク 40%）。
・ 日本・世界経済、市場、環境問題等、経済状況や今日的問題と企業の関係性を分析・考察できるようになる（授業内レポート 30%）。

## JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習